200/300シリーズマネージドスイッチでのホストマッピングの設定

目的

ホストマッピングは、ドメイン名に特定のIPアドレスを割り当てるために使用されます。ホストマッピングを使用すると、スイッチはまず、スタティックIPアドレスが割り当てられたドメインネームシステム(DNS)のエントリを参照します。これにより、スイッチの全体的なパフォーマンスが向上します。また、ホストマッピングを使用すると、ネットワーク上の特定のデバイスを固定IPアドレスにマッピングして、ネットワーク上の異なるユーザに対してこのデバイスを簡単に見つけることができます。

この記事では、200/300シリーズマネージドスイッチでのホストマッピングの設定について説明します。

適用可能なデバイス

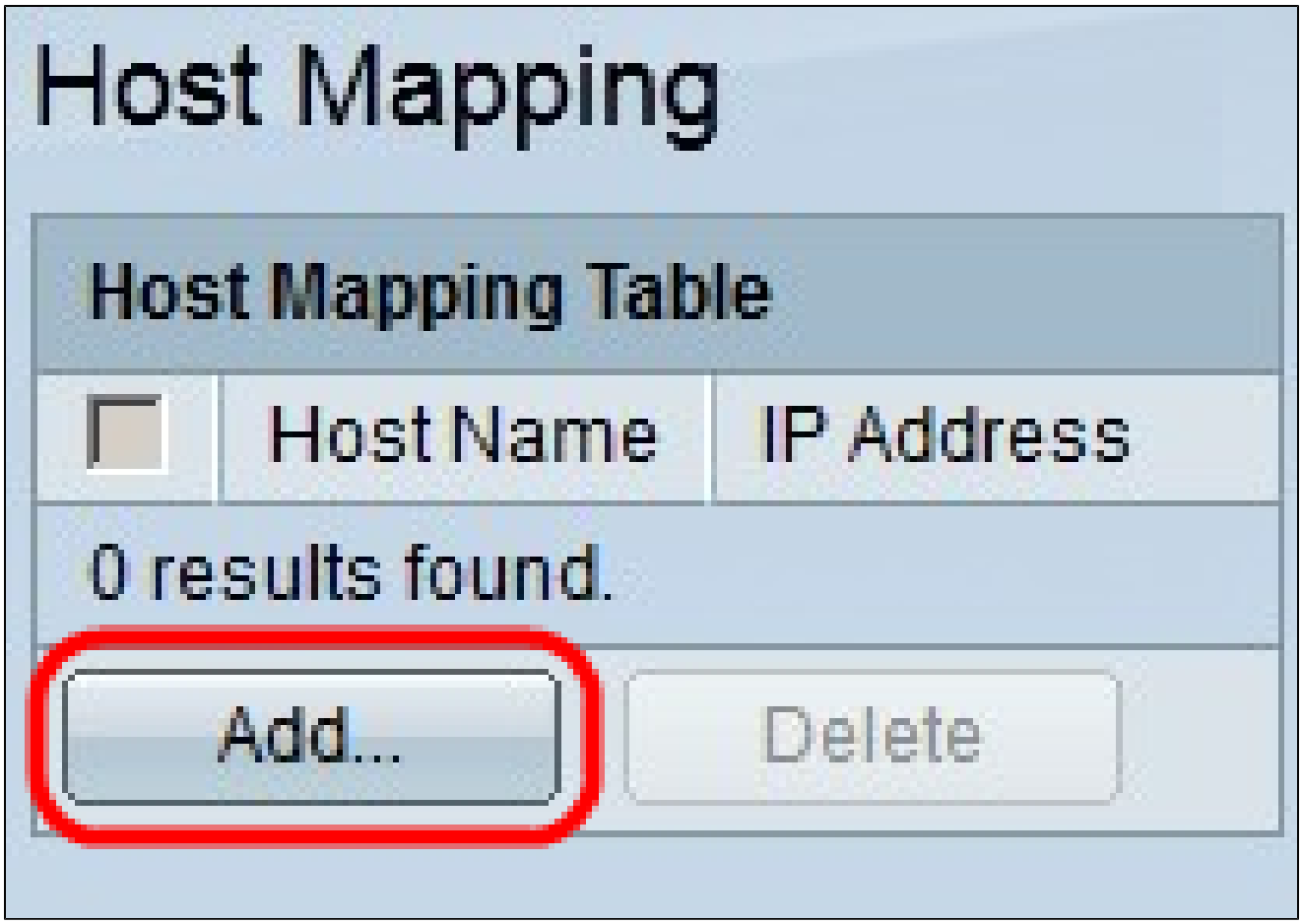
- SF/SG 200およびSF/SG 300シリーズマネージドスイッチ

[Software Version]

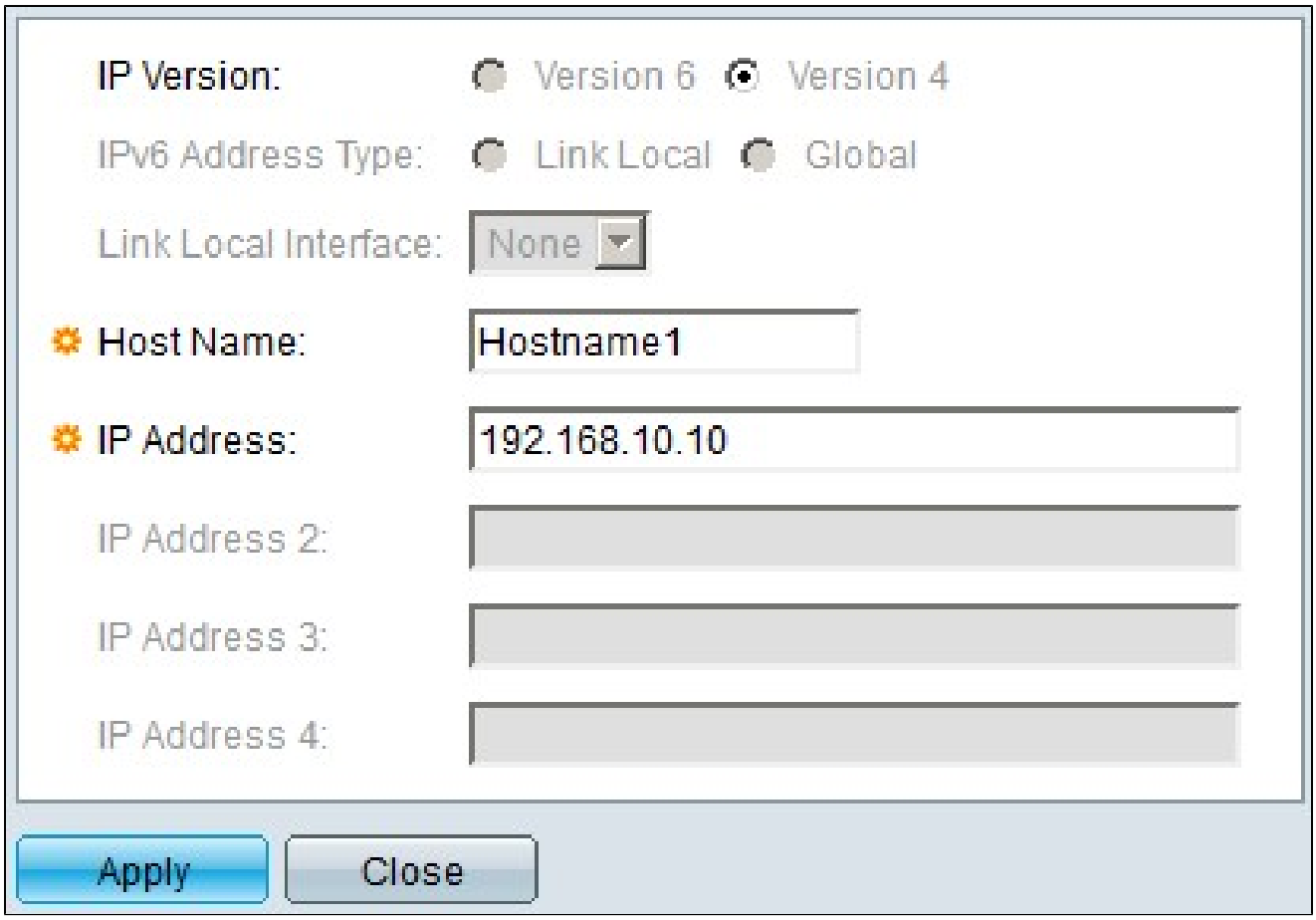
- v1.2.7.76

ホストマッピングの設定

ステップ 1：Web設定ユーティリティにログインし、IP Configuration > Domain Name System > Host Mappingの順に選択します。ホストマッピングページが開きます。



ステップ 2：[Add] をクリックします。Add Host Mappingウィンドウが表示されます。



ステップ 3：IP Versionフィールドで、マッピングするホストのIPバージョンをクリックします。使用可能なオプションは次のとおりです。

・バージョン6:IPv6アドレスを入力できます。このオプションを選択した場合は、ステップ4に進みます。

・バージョン4:IPv4アドレスを入力できます。このオプションを選択した場合は、ステップ6に進みます。

注:IPv6オプションボタンは、スイッチにIPv6アドレスが設定されている場合にのみ使用できます。

ステップ 4：手順3でIPアドレスのバージョンとしてバージョン6を選択した場合は、[IPv6アドレスの種類]フィールドでIPv6アドレスの種類をクリックします。使用可能なオプションは次のとおりです。

・リンクローカル：単一のネットワークリンク上のホストのみを識別するIPv6アドレス。このオプションを選択した場合は、ステップ5に進みます。

・グローバル：他のネットワークから到達可能なIPv6アドレス。このオプションを選択し

た場合は、ステップ6に進みます。

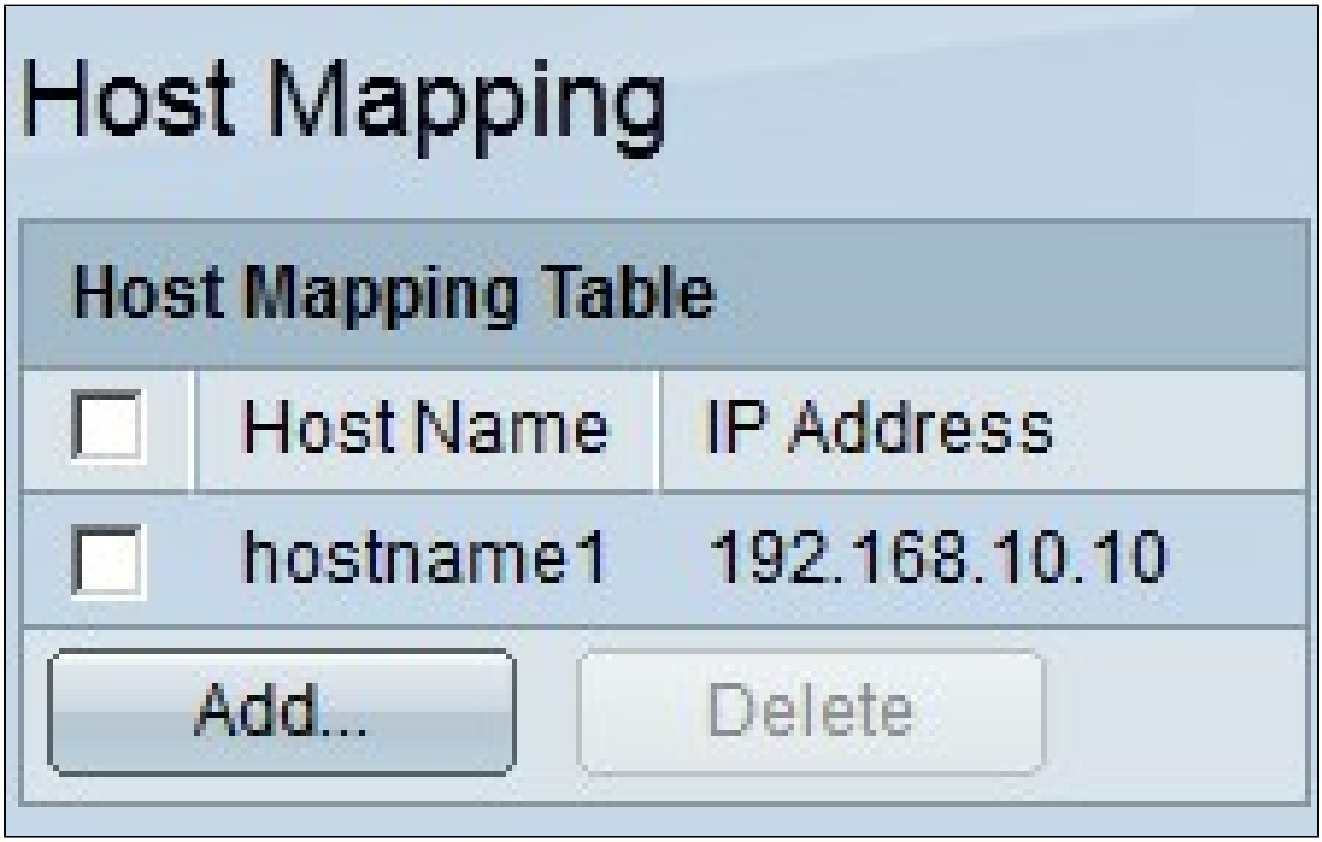
ステップ 5：手順4でIPv6アドレスタイプとしてLink Localを選択した場合は、Link Local Interfaceドロップダウンリストで適切なインターフェイスを選択します。

手順 6：[Host Name]フィールドに、マッピングされたホストを識別する名前を入力します。

手順 7：IP Addressフィールドに、マッピングされたホストのIPアドレスを入力します。

注:IPアドレスのバージョンとしてIPv6を選択した場合は、最大4つのIPv6アドレスを追加できます。

ステップ 8：Applyをクリックして、設定を保存します。



ステップ9:（オプション）ホストマッピングテーブルのエントリを削除するには、削除するエントリのチェックボックスをオンにして、Deleteをクリックします。

翻訳について
シスコは世界中のユーザにそれぞれの言語でサポート コンテンツを提供するために、機械と人による翻訳を組み合わせて、本ドキュメントを翻訳しています。ただし、最高度の機械翻訳であっても、専門家による翻訳のような正確性は確保されません。シスコは、これら翻訳の正確性について法的責任を負いません。原典である英語版（リンクからアクセス可能）もあわせて参照することを推奨します。